

セミエビ

分類：十脚目 長尾類 爬行亜目 ウチワエビ科 (甲殻綱)
 学名：*Scyllarides squamosus*
 英名：Scaly slipper lobster, spanish lobster

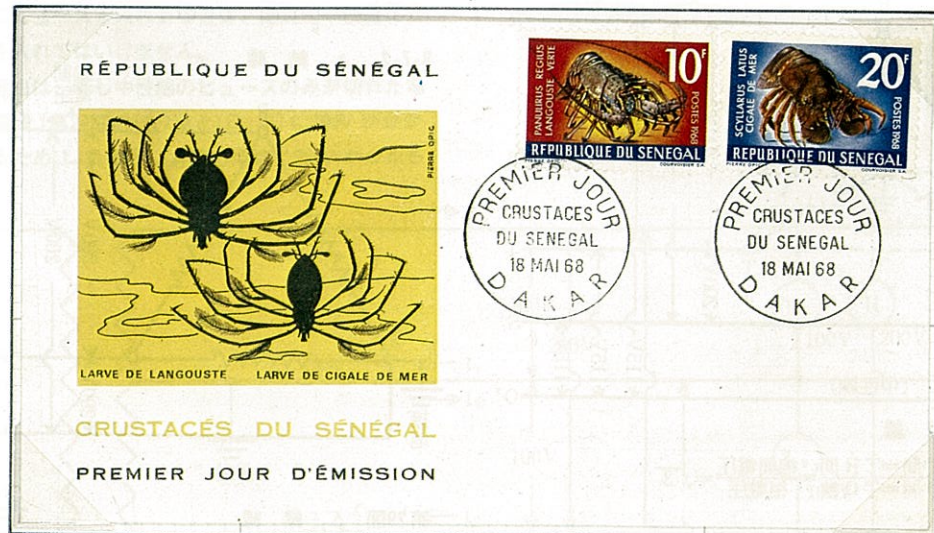
房総半島以南から太平洋、印度洋にかけての暖海に広く分布し、水深30~50m位の岩礁地帯や珊瑚礁のあるところに生息し、昼間は岩の穴やすきまなどに潜み夜間索餌活動をする。体長は35cmに達する大型種で、甲殻は著しく厚く堅固で、生時は一様に紅褐色で、尾扇は黄褐色である。甲の表面には小顆粒と粗毛に被われている。額角は将棋の駒の形状に似る。頭胸部は丸みのある略々方形でやや長い。5対の胸脚は短く頑丈で雌の第5脚には小さな鋏があるが雄にはない。腹部の側甲は良く発達し棘がある。尾節の後縁は丸い。南方諸地域では食用に供される。



Scyllarus latus ヒメセミエビの一種



Evibacus princeps ウチワエビの一種



ザリガニ

分類：十脚目 長尾類 爬行亜目 ザリガニ科 (甲殻綱)
 学名：*Cambaroides Japonicus*
 英名：

日本の在来種であるザリガニは北海道日高山脈以南と岩手県と秋田県との間に分布する体長3~4cmの小型であるのに比べて、アメリカから渡来したアメリカザリガニ*Procambarus clarki*は体長10cmに達し在来種が北方地域に局限されて競争相手がなかったことと、水田という絶好の棲家に恵まれたことにより本州各地にまたたくまに広まり、一般にザリガニと呼ぶときには本種を指す程に普及している。川、沼、水田に生息し、稲などの植物の根を刈り取り食害する。サワガニなどと共に肺吸虫の中間宿主となる場合が多く生で食べるのは危険である。一般にザリガニはアフリカ大陸以外の各大陸に広く分布し、約300種ほど知られている。



Procambarus sp
 アメリカザリガニの一種



Astacus astacus



左端に同じ



A. astacus ヨーロッパザリガニ



Cherax communis holthuis



A. fluviatilis